令和8年度　評価計画及び自己評価

令和8年9月29日

（計画・(中間)・最終）　　広中央中学校区　校番4　学校名　呉市立広小学校

a 学校教育目標	学びいっぱい・笑顔いっぱい・元気いっぱいの「ひろっこ」の育成 ～いきいき・わくわく・みんなでチャレンジ～	b 経営理念 ミッション・ビジョン	〈ミッション〉（学校の使命） 「生きる力」を育み，学校や郷土を誇りに思う児童の育成 〈ビジョン〉（将来の学校像） ①確かな学力と豊かな心が身に付き，笑顔いっぱい元気いっぱいの児童が集う学校 ②児童・保護者・地域・教職員が成長を感じることができる学校

c 中期経営目標を踏まえた現状（進捗状況）と今年度の重点	・個に応じた指導として，指導方法や指導体制の工夫改善の取組やICTの効果的な活用により，思考・表現できるようになったり学習意欲が向上したりする児童が増えた。しかし，学力の二極化や学びに困難さを抱えた児童の基礎・基本の定着に課題がある。教育のユニバーサルデザインの視点を取り入れ，個別の支援・指導の継続，「考える授業づくり」に向けた授業改善，学力向上に繋がるICT（キュビナ等）の活用に取り組む。 ・自尊感情が十分に育っていない児童や不登校，不登校傾向の児童が多い。児童理解に基づいた個に応じた指導・支援や豊かなかかわりを通して，自分のよさを実感できる場の設定や肯定的評価を実施する。

育成すべき資質・能力	「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「 主体性」「自尊心・協調する力」

評価計画（中期経営目標を設定してから　1　・　2　・　(3)　年目）						自己評価					
						上半期			下半期		
重点	d 中期（3年間）経営目標	e 短期（今年度）経営目標	f 目標達成のための方策（こんなことをして達成します）	g 指標（効果を見とる目安）	h 目標値	i 達成値	j 達成度	k 評価	i 達成値	j 達成度	k 評価
★★★ 知	確かな学力を育成する。	基礎・基本の定着	○学習規律の定着	ベルスタートができる児童の割合（5分休憩の過ごし方を含む）	90%	87%	96%	B			
			○キュビナ活用等による実態把握に基づいた個に応じた指導（授業や補充学習等）	学期末テストで通過率40%未満の児童の割合	国語3%以下 算数5%以下	国語3% 算数2%	国語100% 算数103%	A			
		思考力・判断力・表現力の育成	○「導入の工夫」「学び合う場の設定」「振り返り」を取り入れた授業の実施	「ひろっこ学びのスタンダード」を取り入れた授業を実施している教員の割合	90%	90%	100%	A			
			○「考える授業づくり」に向けた発問の工夫	授業の内容がよく分かると答える児童の割合	90%	96%	106%	A			
★★ 徳	豊かな心を育成する。	規範意識の向上	○「ひろっこみんなのやくそく」に基づいた組織的な生徒指導の徹底	「ひろっこみんなのやくそく」を守っていると答える児童の割合	90%	93%	103%	A			
		(貫) 自尊感情・自己肯定感の向上	○児童理解に基づいた個に応じた指導・支援 ○学校全体で自尊感情を育てる取組の実施	自分にはよいところがあると答える児童の割合	85%	86%	101%	A			
★ 体	健やかな体を育成する。	健康の保持増進と体力・運動能力の向上	○「早寝・早起き・朝ごはん」を意識させる「いきいきチャレンジ週間」の実施（6月・11月） ○保護者への積極的な啓発	朝ごはんを食べる児童の割合	97%	97%	100%	A			
			○体育科・くれチャレンジマッチや体育朝会等への取組を通じた体育的活動の推進	50m走・立ち幅跳び・反復横跳びで1学期と2学期の伸び率	5%	/	/	/			
		「自分の命は自分で守る」力の育成	○「呉市防災教育のための手引き」等を活用した授業の実施 ○安全指導・避難訓練の改善	災害時に避難する場所や避難の仕方について理解している児童の割合	100%	94%	94%	B			
業務改善	健康でやりがいのある職場をつくる。	児童と向き合う時間の確保	○教育活動の見直し ○ICTの活用	児童と向き合う時間が確保されていると感じる教職員の割合	90%	86%	95%	B			
		長時間勤務の削減	○定時退校日（水曜日）の実施 ○18:30退校の定着	時間外勤務が月45時間以内の教職員の割合	90%	64%	71%	C			

【k：評価】
A：100≦（目標達成）　B：80≦（ほぼ達成）＜100
C：60≦（もう少し）＜80　D：（できていない）＜60